

「恋人の聖地」に認定される。富津市金谷で、当地ゆるキャラ「かなにゃん」の石像を「ご神体」として祭った神社が登場した。かつて鋸山から切り出した房州石を使ったかわいらしい石像が観光客を和ませている。

聖地に恋招き神社

富津「ご当地キャラ祭る

キャラクターで、招き猫のポーズで恋を引き寄せる「恋招き猫」としてイベントなどに登場している。神社では、絵馬を奉納したり「恋みくじ」を引くことができ、バレンタインデーの14日からは、ストラップなどの特製グッズも販売。

金谷地区では4月6日まで、金谷美術館や飲食店など8施設が参加する春のスタンプラリーを開催中で、ザ・フィッシュやカフェでは地元住民から寄贈されたひな人形も見ることもできる。

神社は、かなにゃんを生んだ地元の観光施設「ザ・フィッシュ」が恋の町をPRしようと、今月から施設内に設置した。石像は近くのシエアートリエ「KANAYABASE」で活動する彫刻家、榎本恵花さん(24)が作成した。

「ザ・フィッシュの岡本晃子さん(41)は「のんびりした金谷の町を散策して、かなにゃん神社で御利益を授かって」と呼び掛けている。

